

MJ進路通信：「進路指導室から、未来へ」



～ようこそ、アップデートされた4年目の案内所へ～

前橋女子高校進路指導部

令和8年度 第27号

令和8年9月11日(金)発行

■共通テストの出願が始まります

大学に入学するにはもちろん入学試験に合格することが必要ですが、同時に出願から入学までにはいくつもの「手続き」があります。そして大学入学を希望するほとんどの受験生にとって、共通テストの出願は最初の「手続き」、大学進学への第一歩となります。

本号では、共通テストの手続きを中心に、大学入試のおおまかな流れについて解説します。

大学入学共通テスト（以下「共通テスト」）は、大学入試センターが行う試験で、国公立大一般入試を受験する生徒はもちろん、学校選抜型入試や多くの私立大学の受験（共通テスト利用型入試）でも課され、全国で50万人近くの生徒が受験する最も大規模な試験といえます。

共通テストを受験しようとする受験生（高校生）は、まず大学入試センターHPで公開されている「**受験案内**」に基づき「マイページ」を作成し（7月に完了）、その後マイページから受験科目の登録、受験料の支払い等すべてweb上で行うこととなります（3年生は18日に学校で実施します）。登録時には受験生の氏名等に関する情報に加え、共通テストの受験科目も登録することになります。登録していない科目については、受験本番で突然受験するということは認められていません（変更手続き期間が設定されています）。

つまり、この出願期間で「どの科目を受験するか」を確定させておく必要があるわけです。登録に不備等があると受験に支障が出ることもありますので絶対に間違いが許されない手続きでもあります。締切は1日でも過ぎればもう受付はしてもらえませんので日頃から忘れ物や遅刻癖がある人は要注意です。今年度の共通テストは1月16日（土）、17日（日）の2日間で行われます。受験会場は大学入試センターから指定され、前女ではここ数年は前橋女子高校会場で受験しています（ただし、今年度以降の共通テストも前女で受験できるかどうかは

Web 出願 令和 **9** 年度
大学入学者選抜に係る
大学入学共通テスト

受験案内

【出願内容の登録（Web 出願）】
令和8年9月15日（火）10:00
～10月2日（金）17:00

出 願 期 間

【検定料等の支払い】
令和8年9月15日（火）10:00
～10月2日（金）23:59

出 願 期 間

【試験 期 日】 令和9年
1月16日（土）・17日（日）

★ 出願内容の登録後、検定料等の支払いを行うことにより、出願完了となります。
★ 出願期間後の出願は一切受け付けません。

大学入学共通テスト
出願サイト

大学入学共通テスト出願
サイト操作マニュアル

★ 受験に際し、前号・後号や諸君のために、受験上の配慮を希望する場合は、出願手続とは別に、郵送での受験上の配慮の申請が必要です。

独立行政法人 大学入試センター



手続きは、余裕をもって、正確に！

分かりません）。下の時間割を見ても分かるように終了は2日間とも18時前後となり、非常にハードなスケジュールです。

試験期日	出題教科	出題科目	試験時間 (注1, 2)
令和9年 1月16日(土)	地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『公共、倫理』 『公共、政治・経済』 『地理総合/歴史総合/公共』(注3)	2科目登録者 9:30～11:40 (注4) 1科目登録者 10:40～11:40 (注4)
		国 語	13:00～14:30
	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	『英語』 【リーディング】 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 【筆記】 15:20～16:40
			『英語』 【リスニング】 17:20～18:20
1月17日(日)	理 科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(注3) 『物理』『化学』『生物』『地学』	2科目登録者 9:30～11:40 (注4) 1科目登録者 10:40～11:40 (注4)
	数 学 ①	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ』	13:00～14:10
	数 学 ②	『数学Ⅱ、数学B、数学C』	15:00～16:10
	情 報	『情報Ⅰ』	17:00～18:00

3年生は既に共通テスト模試を受験していますので共通テストがどのようなものかは分かっているはずですが、特徴としては次のようなことが挙げられます。

①国公立大一般入試を受験する生徒には必須の試験

国公立大一般入試の可否は共通テストの成績と個別試験の成績の合計で決まります。配点比は大学ごとに異なり共通テスト重視の大学もあれば個別試験重視の大学も。一般的には、難関大と言われるような大学は個別試験の配点が高い傾向にあります。国公立大学を目指すにあたっては、さまざまな業者が作成しているボーダーラインが目安になりますが、そこでも「共通テスト〇〇%」のような形で提示されています。

②私大や推薦入試で受験が必要になる場合がある

私立大の受験方式は様々で、その中でも「共通テスト利用方式」と呼ばれるものもあります。これは、大学が指定した教科・科目の共通テストの得点で合否を判定するものです。実際に大学に出向いて受験をする必要がないので負担は少ないですが、手軽なこともあり倍率は高くなる傾向にあります。

③自己採点により出願する大学を決めないといけない

共通テストの得点は自己採点でしか判断できません。受験校の決定は「自己採点結果」に基づき行うため、自己採点が不正確だと合格の見込みが全く異なるものになります。過去には1教科で50点近くの実差（誤差）があった人もおり、こうなると受験プランは台無しです。模試のたびに自己採点を行うのはそのためで、日頃から正確な自己採点を意識することが大切になってきます。（写真は昨年度の共通テスト入場の様子）



■「大学入試の基礎用語」（第4回：志望理由書）～先生、書くネタがありません（涙！！）～

大学入試の出願の際、特に学校推薦型選抜や総合型選抜においては「志望理由書」の提出が求められる場合があります。「志望理由書」とは、文字通り「その学校（学部・学科）に入学したい理由」について記した書類のことであり、最近是一般入試でも提出を求められるケースも増えています。入学したい理由に加え、「将来の希望」や「この学校で特に取り組みたいこと」などを記入することもあり、もちろんその書類自体が評価の対象となるほか、面接試験等においてはその志望理由書を踏まえて質問されることもあります。

志望理由書を書くにあたっては、その大学を目指すきっかけのみならず、その目標のために今までどんなことを頑張ってきたのかもアピールする必要があります。一朝一夕に書けるものでもないため、1・2年生の皆さんも一度自分の志望校について深く考え、一度志望理由書を書いてみてはどうでしょうか（志望校へのラブレターのようなものです）。改めて自分の気持ちを整理することで志望校への思いが大きくなるかもしれませんね。



《優秀答案例》

私は■■大学商学部で対外マーケティングを中心としたマーケティング戦略について学ぶことを志望している。その上で、総合商社に就職し、外国との貿易取り引きを円滑に行い、国内の経済成長をうながすことのできる人になりたい。

私は高校一年生の夏から一年間、アメリカ合衆国に留学した。そこで地元の高校に通い、生活することで私はアメリカのさまざまな文化や産業を目にし、経験した。また、高校での授業では経済とマーケティングを選択していたので、授業内で日本とアメリカとの販売戦略のちがいや顧客のニーズのちがいを学んだ。また、アメリカ人の同級生とのディスカッションを通してマーケティングに対する考え方のちがいを知り、興味をもった。また、日本へのアメリカ産業の進出・展開が遅いこと、そして日本文化への誤解が多いと感じた。アメリカには日本の商品・文化が流入してきてはいるものの、それらの多くが別物として扱われ、アメリカに溶け込んでいなかった。これらの経験から、私は日本の経済成長のため、そして他国と日本との国交を商業の観点から強めたい。そのために総合商社に就めて、それぞれの国の文化産業をよりスムーズに正しく伝え、それを各々の国に合わせた工夫を施し、輸入・輸出を進めたい。

私の夢を実現するためには、国内のマーケティング戦略を学ぶことと同時に対外マーケティングについても学ぶことが必要不可欠である。それぞれの国の文化・産業やそこに住む人に合わせてどのような戦略を立てるかを学ぶことでより貿易をスムーズに行うことができると考えるからだ。高校二年の夏に貴校のオープンキャンパスに参加し、学生に対する教授の人数が多く、指導が手厚く多種の知識や専門分野をもった教授が多いことに魅力を感じた。また、私は一度留学をしたが、今度は外国で専門分野について学んだり、研究を行うためにもう一度留学したいと考えている。そのため、留学制度の充実している貴校は自分にとって最適な大学である。

文化が異なれば、そこに住む人も異なり、人が異なれば、産業も異なると私は考える。貴校で学んだ知識を生かして外国との貿易取り引きにおいて、金銭的利益だけでなく、他の分野においても輸入国側、輸出国側の利益やメリットが最大になるような貿易取り引きを行うことのできる工夫をしたい。

多種の細部までの知識をもつ多くの教授がいて、さらに留学制度が整っている貴校で学ぶことで私の理想とする形で日本国内の経済成長に役立てると考え、私は■■大学商学部に行くことを志望する。